

MULTIPLEX

FUNJET ULTRA

キット 組立て補助説明書

※当説明書はキットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P8～12)が英語表記です。イラストは、P29～32です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ラジコン飛行機は取り扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れずに最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の事故に備えてください。



警告 注意 安全のための確認

- 1) 本機体は全くの初心者の方による単独飛行は困難です。
必ず経験者の指導のもとに機体の点検と飛行練習を受けてください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性があります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーターコントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを接続してください。
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転するなどして大変危険な状態になります。
モーターのスピードコントローラーの取り扱いも熟知しておいてください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON-OFF に関わらず、プロペラに触れないように保持してください。
万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を手投げする時は人に向けてはいけません。人を背後にした向きで手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なってください。
熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなり、パワーが低下します。
モーターの温度を確かめるときは火傷に注意してください。

●キット内容のチェック

各国語版の説明書 P29 のパーツリストに沿って欠品がないか調べます。
もし欠品や破損品がある場合はお手数ですがハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡下さい。

●推奨搭載メカなど

- ・送信機: AURORA9, OPTIC6, OPTIC6SPORTまたは 6ch以上でエレボン機能がある送信機。
- ・受信機: OPTIMA7
 - Hitec Mini 6S 重量15g
 - Hitec NEUTRON 6S 重量16g
- ・サーボ: Hitec HS-65HBもしくは HS-65MG(HS-5065MG) × 2

● **パワーユニット（別売）**

ファンジェットウルトラ用パワーユニット(品番 332647)

- ・モーター: (KV2900)
- ・プロペラ: 6x5.5 折ペラ
- ・スピードコントローラー: 容量 70A

● **動力用バッテリー: 3セル 3000mAh(25C 以上)**

● **機体データ**

- ・全幅 783mm
- ・全長 750mm
- ・翼面積(FAI) 14.5 dm²
- ・重量 875 g
- ・翼面荷重 60 g/dm²

● **接着剤**

当製品の素材はELAPOR Formです。EPPに似てシンナー溶剤に溶けにくい性質がありますがわずかに溶けます。ELAPOR Form同士の接着には中粘度または高粘度の瞬間接着剤と硬化促進剤を使用してください。あるいはEPP専用接着剤を推奨します。硬化して固くなるエポキシ接着剤はあまり適しません。

墜落の激しいショックで剥離する場合があります。これを防ぐには接合面の表面を削り落とす意味でサンディングをして表面を荒らすと接着剤が染み込み、効果的です。硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。

ELAPOR Formと成型プラ部品の接着は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らして乾燥した後に塗布します。

注意: 瞬間接着剤は目に入ると危険ですので作業中は必ずゴーグルを着用し目を保護してください。

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。(P29~31)

図1、2 (Abb,1.2)

キットの構成イラストです。部品を確認してください。

図3 (Abb,3)

サーボコード、スパーの通るところの穴を開けます。

図4 (Abb,4)

ホーンにプッシュロッドコネクターを組み込んで図のようにエレボン(エレベーターとエルロンのコンビネーション)に接着します。左右とも制作します。

図5 (Abb,5)

サーボを接着します。5分エポキシまたはホットボンドを推奨します。左右とも

図6 (Abb,6)

エルロンが動くようにサイドのつながっている部分をカットします。ヒンジ部分はカットしないでください。

図7 (Abb,7)

リケージロッドを組み込みます。

図8 (Abb,8)

主翼を胴体に接着します。スパーを入れサーボコードを通して確認してから接着します。

図9 (Abb,9)

サーボカバーを装着します。整備性を考えテープで固定することを推奨します。

図10 (Abb,10)

キャノピーキャッチを接着します。

図11 (Abb,11)

胴体上部カバーを接着します。アウターローターモーター使う場合はコードガイドを忘れずに接着してください。

図12 (Abb,12)

キャノピーラグを取りつけます。。

図13 (Abb,13)

モーターマウントを接着します。借り組みして確認した後接着します。

図14、15 (Abb,14, 15)

モーターを取りつけます。

330W位のパワーユニットの場合はプラスチックのプレートで装着してください。
純正のチューニングパワーユニット(品番 332647)またはほぼ同等のモーターを
使われる場合はアルミのプレートを使用してください。

図16 (abb,16)

垂直尾翼を接着します。左右の向きを確かめて接着してください。

図17 (Abb,17)

図はメカ搭載の例です。

絵では見えませんがバッテリー固定用のプレートを接着します。

図18(Abb,18)

重心位置です。主翼の取り付け箇所から前縁から 30mmです。

●**重心位置**（P31 参照）

重心位置は主翼の取り付け箇所の前縁から 30mm です。
重心位置は飛行機にとって、とても重要な要素です。正確に合わせてください。
重心位置はマークをして飛行前にいつでも確認できるようにします。

●**舵角の設定**

エルロン 上8mm 下11mm
エレベーター 上10mm 下8mm

エルロンの動作方向を間違えないようにプロポの設定をしてください。
機体を後ろから見て右のエルロンが上がって左のエルロンが下がったら
右に回転します、ご注意ください。

モーターの回転方向にも注意が必要です。逆転でスタートさせると
機体がバックし事故になる危険性があるので慎重に確認してください。

●**シール**

本機体の素材はシールの糊が付きにくい素材です。
先にエンジンシンナーを布に含ませ、拭いて表面を軽く荒らす事で貼り付け易くなります。
この拭きとり作業は最大30秒以内に行ってください。

●**初飛行前に**

ご注意:この機体は中、上級者向けです。
初飛行は無理をせず機体に慣れてください。
風の弱い日に行ない、着陸は、まだバッテリーの残量があるうちに
何度かアプローチしておいて余裕をもって着陸します。

販売元: **株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン**
〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10-1F
電話: 050-5519-4989
受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)
10:30～12:30、13:30～16:30
お問い合わせフォーム: <http://hitecrd.co.jp/mailform/>

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。



Feb.2010